

BOUSAI

ふり返りレポート

東中野防災アンケート

report

『おかのうえ防災訓練』

●平成31年2月17日(日)に開催しました
おかのうえ公園(中野区東中野5-27-5
東中野区民活動センター)

- 主催 東四防災会、東五小滝防災会
- 協力 中野区、中野消防署、日赤奉仕団東中野分団、中野消防団第六分団、とちまるランド、朝日新聞社、株式会社光栄、レンゴー株式会社



参加者約180名
子育て世代、外国人ファミリーなどの参加も多数。
地域の防災に関心の高い高齢者の参加も多く見られました。

水や食料の
備蓄をしていますか?
yes
60%

近所に
助けてくれる
友だちはいますか?
yes
65%

地域の避難所は
どこにあるか
知っていますか?
yes
88%

家具の転倒防止
対策をしていますか?
yes
42%



new

新連載

防災コラム

第一回

防災を身近に

みなさん、はじめまして。東中野5丁目小滝防災会のハタケヤマです。このたび約半年にわたる研修を終え、中野区防災リーダーとしても活動することになりました。どうぞよろしくお願いいたします。

さて今年は年始から熊本県和水町で、2月には北海道厚真町で、ともに震度6弱を観測する大きな地震が発生しました。先日は、政府の地震調査委員会が、今後30年間にM7~8の大地震の発生確率の予測(*1)を発表し、関東地方に住む私たちも、次の地震の備えが必要だということが示されました。

このコラムでは次回から、日々の生活に取り入れたい防災のママ知識をお知らせします。東日本大震災の発生から8年が過ぎた現在は、大きな揺れの記憶や不便だった生活の記憶も忘れがち。「天災は忘れた頃にやってくる」という警句を頭の片隅に置いて、防災意識を高めていきたいものですね。

予告

第二回(6月号)

自宅での防災(家具の転倒防止、停電・断水時の対処法)

第三回(8月号)

買い物での防災(備蓄方法、ローリングストックのしかた)

第四回(10月号)

家族での防災(安否確認の方法、避難場所の確認など)

第五回(12月号)

地域での防災(避難所での過ごし方、共助について)

*1 政府 地震調査研究推進本部 地震調査委員会「日本海溝沿いの地震活動の長期評価」(平成31年2月26日発表)

2年前より東中野5丁目在住。宮城県気仙沼市出身。東日本大震災当時は実家が地域の避難所となり、その運営補助も経験。防災士、中野区防災リーダー、東京消防庁災害支援ボランティア。

ライターのハタケヤマさん



2 災害写真展

report

朝日新聞社さんから借用した災害写真パネル35点を展示。昨年の大災害の記憶も新しいことから、来場者の多くが写真パネルの前で足を止め、幼児から高齢者まで世代を超えて、深く見入っていたのが印象的でした。

今後なくてはならないと思う 防災対策は何ですか?

「家族の落ち合う場所の確認」 「友だちをふやす」

「水や食料品を最低3日分準備しておく」

「健康でいること」 「備蓄品の期限の確認」

「家具で落ちてきそうな物を知っておく」

「福島の実験からすると、
トイレの問題はととても重要！」

3 report

防災体験



起震車による揺れ体験



スタンドパイプ消火訓練



煙ハウス体験



豚汁と
湯せんで作るご飯



炊き出し体験



防災おやつクッキング

じゃがりこ
ポテトサラダ!

report

防災展示

東日本大震災では長引く避難所生活でエコノミクス症候群などの健康被害が問題化しました。

日本の避難所で多く見られる「雑魚寝状態」を解決すべく、ダンボールベッドの導入が見直されています。



頑丈なので安心

段ボールベッド



あったかい
感じがする~



簡易トイレ



段ボール間仕切り

